

主な内容

- 2・3面 平成26年度予算の主要事業
- 4面 平成26年度行政改革
- 5面 地域社会貢献者・寄附行為者
- 6面 市美術館 光琳を慕う中村芳中
- 12面 区版

2014年(平成26年)  
**4月1日(火)**  
**No.1575**  
 (毎月1日・15日発行)

人口 963,815人  
 前月(2月)比 290人減  
 (男 480,243人 女 483,572人)  
 世帯数 416,788世帯  
 面積 272.08km<sup>2</sup>  
 (平成26年3月1日現在)

千葉市役所 ☎043-245-5111 (大代表)  
 〒260-8722千葉市中央区千葉港1番1号  
 ホームページ <http://www.city.chiba.jp/>

市役所 区役所 へのお問い合わせは **市役所コールセンター ☎043-245-4894** しゃくしょ ☎043-248-4894 \*電話での受け付けは8:30~21:00 (土・日曜日、祝・休日は17:00まで)

# みなさんの平成26年度予算

## 財政健全化と未来に向けたまちづくり

市議会の審議を経て、平成26年度予算が成立しました。予算の総額は、7,987億6,100万円で、対前年度比6.7パーセントの増となっています。財政健全化への取り組みを継続し、また、未来に向けて発展していくために必要な分野へ重点的に予算を配分することができました。

### 新年度予算の規模

( ) は対前年度比

総額	7,987億6,100万円 (6.7%増)
内訳	一般会計……………3,753億円 (4.4%増) 特別会計……………3,390億4,800万円 (6.5%増) 企業会計……………844億1,300万円 (19.0%増) *一般会計の内訳は、【3面】に掲載しています。

### 重点的に配分した予算の例

\*主要事業は、【2・3面】に掲載しています。

#### ●市民参加と協働

- ・地域課題解決に取り組む地域運営委員会を支援
- ・情報通信技術を活用し地域課題を解決するシステムを構築

#### ●子育て支援

- ・認定こども園の整備など、保育所待機児童解消施策を実施
- ・通院医療費の助成対象を、小学3年生から中学3年生までに拡大

#### ●教育の充実

- ・いじめなどによる重大事態を調査する委員会を設置

#### ●医療と福祉の充実

- ・水痘ワクチンの定期予防接種化など、予防接種を拡充
- ・認知症の方の支援を行う認知症初期集中支援チームを設置



#### ●経済の活性化・まちづくり

- ・市内小売店などで使用できるプレミアム付き商品券を発行
- ・稲毛から幕張にかけての海辺の活性化施策を実施
- ・千葉駅東口再開発の促進など、千葉駅周辺の活性化を推進

#### ●防災・減災対策の推進

- ・道路などの公共施設と宅地との一体的な液状化対策を推進
- ・平成26年度末までに校舎・屋内運動施設の耐震化を完了



### 財政健全化に向けた取り組み

第1期財政健全化プランにより、着実に効果が得られていますが、今後も厳しい財政状況が続くため、第2期財政健全化プラン(平成26年度~29年度)を策定し、全庁一丸となって取り組みます。

#### 平成22年度~25年度の取り組みの成果

- **実質公債費比率の低減**  
 (収入に対する借金返済額の割合)  
 平成21年度 21.1%  
 →平成25年度 18.8%
  - **将来負担比率の低減**  
 (収入に対する借金残高の割合)  
 平成21年度 306.4%  
 →平成25年度 245.0%
  - **人件費の削減** 108億円削減
  - **事務事業の見直し** 95億円削減
- \*平成25年度の数値は見込みです。

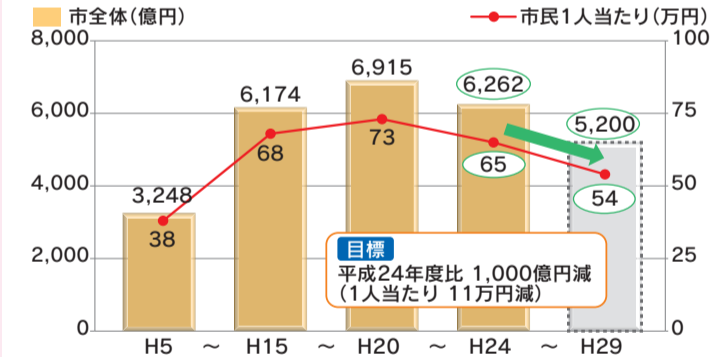
#### 第2期財政健全化プラン(平成26年度~29年度)の取り組み

〈主要目標〉 財政運営や健全化に大きな影響を与える4項目【下記】の合計額を「主要債務総額」とし、平成24年度比で1,000億円の削減を目指します。

- ①建設事業債等残高
- ②債務負担行為支出予定額
- ③基金借入金残高
- ④国民健康保険事業累積赤字額

〈将来に向けた財政健全化への取り組み〉 ●適正規模の市債発行と市債残高の削減 ●健全化判断比率の改善 など  
 〈歳入確保対策や歳出削減対策〉 ●市税などの徴収対策 ●市有資産の効果的な活用 ●事務事業の見直し など

#### 主要債務総額の推移



問い合わせ ・ 財政課 ☎245-5075 ☎245-5535 ・ 資金課 (財政健全化プランに関すること) ☎245-5078 ☎245-5535

## 市長メッセージ(第49号) 熊谷 俊人



いよいよ今日から新年度です。気持ちも新たに市政に取り組んでまいります。

平成26年度予算は、これまで取り組んできた財政健全化路線をしっかりと守りながら、今後の千葉市の発展のために必要な分野に予算を配分することができました。

市債残高については全会計で89億円減少する見込みであり、今後も常に歳出削減の取り組みを進め、将来へのツケを着実に減らしていきます。

主な内容は次ページ以降をご覧くださいと思いますが、少し抜粋しますと、子育て支援では、子ども医療費助成の対象を県内トップクラスの中学校卒業まで拡大しました。すでに保育所の待機児童対策は県内主要都市の中で最も進んでおり、今回の医療費助成の拡充などにより、さらに「子育てするなら千葉市」を強力に訴求できるものと考えております。

また、超高齢社会に対応するため、特別養護老人ホームの整備など介護基盤の充実に加え、認知症初期集中支援チームを立ち上げます。すでに千

葉市では認知症相談コールセンターや認知症疾患医療センターを整備するなど、認知症対策に取り組んできましたが、さらに積極的に取り組みます。

以前よりお伝えしてきた海辺の活性化についても、今年度いよいよ全体計画の策定を進めるとともに、いなげの浜にある磯の松原に散策路を整備することや海辺の眺望を楽しめる駐車場を設置するなど、具体的な施策を展開していきます。工事が長期間になりご迷惑をお掛けしていた、市役所前の国道357号の地下立体化の工事も来年前半に完成する見込みです。

就任以来、財政が厳しい中、一度立ち止まり、予算の使い方を徹底的に見直してきました。同時に、千葉市の発展のため、今後何に投資すべきか議論を重ねてきました。

これまでの見直しと今後に向けた議論を土台に、少しずつ千葉市の将来に向けての挑戦が始まりつつあります。

もちろん、それら施策の推進に当たっては市民の皆様のご意見が不可欠であり、今後も対話会を含め、さまざまな形でご意見を伺ってまいりますので、よろしくお願いいたします。